



山車小屋で制作過程について話を聞く学生たち

観光資源にどう生かす

八戸

八戸学院大短期大学部
ライフデザイン学科の1
年生13人が26日、八戸市
石手洗の吹上山車組の山
車小屋を見学した。初め
て間近に制作風景を見た
学生も多く、地元の伝統
に理解を深めながら、観
光資源にどう生かしてい
くかを考えた。

同学科の授業「観光概
論」の一環。授業では、
市内の神社や博物館、観
光農園などさまざまな観

八学短大1年生 山車小屋見学

光資源がある場所を實際
に訪れ、地域と観光の関
わりや誘客面の課題につ
いて学んでいる。

この日は、同山車組相
談役の八嶋隆さんらが、
制作過程や三社大祭の歴
史を解説した。

参加した同学科1年の
相前祐希さん(18)は「人
形1体ごとに手間が掛か
っている。仕掛けなど観
光客が楽しめる部分が多
くあり、興味深く感じ
た」と話した。

(田中周菜)